

徳島赤十字病院臨床研修プログラム：泌尿器科

コース責任者：岸本 大輝

研修期間：選択必修科（外科）として12週間のうち4週間
選択科として4週間から

I：一般目標（GIO:General Instructional Objective）

医師として望ましい姿勢・態度と基本的な診療能力を身に付け、泌尿器科疾患の基礎知識と診断・治療を通じてプライマリケアに必要な知識および技術を習得する。

II：行動目標（SBOs:Specific Behavioral objectives）

A. 基本姿勢・態度 研修医手帳を参照

B. 診察法・検査・手技

①主な医療面接・基本的な身体診察法

- 1) 泌尿器科疾患の症状・所見の情報収集の技術を習得することができる。
- 2) 泌尿器科疾患の病態に応じた検査の指示と、検査結果の分析・解釈ができる。
- 3) 臨床診断後、迅速・確実・丁寧な初期治療を選択し実施することができる。
- 4) チーム医療での自立的・協調的なコミュニケーションと診療が実施することができる。
- 5) 患者の苦痛を理解し、治療することができる。
- 6) 患者・家族との医療面接から、迅速に正確な情報を収集することができる。
- 7) 患者および家族に分かりやすい病状説明をすることができる。
- 8) コミュニケーションを駆使して、身体所見を得ることができる。
- 9) 腎の触診と打診、直腸診、前立腺マッサージ、外性器と陰嚢内容の触診が愛護的に丁寧に実施することができる。
- 10) 手術・検査前後の病態の変化・推移を予測して観察・診察・評価することができる。

②主な基本的な臨床検査

- 1) 泌尿器科的検査を迅速に指示し、結果を総合的に分析・解釈できる。
- 2) 泌尿器生殖器の超音波検査・尿道造影・尿道膀胱鏡検査・前立腺圧出液検査の適応と禁忌を理解し、愛護的に迅速に対応することができる。

③主な基本的手技

・処置・手術・その他

- 1) 下記の泌尿器科的処置の適応・禁忌を判断して、迅速・確実・丁寧に実施することができる。

（導尿、尿道カテーテル留置、膀胱洗浄、腎盂洗浄、泌尿器科ストーマ処置、尿路変更術後カテーテルの交換、嵌頓包茎用手整復、陰嚢水腫・精液瘤の穿刺・吸引、膀胱内凝

血除去 など)

- 2) 処置・手術の助手ができ、手術記事・処置記事をカルテに記載することができる。
- 3) 入院患者の術前術後・検査前後・治療前後の管理を行うことができる。
- 4) 患者・家族への丁寧な対応と治療方針や各種検査の結果について説明をすることができる。
- 5) 他科医師への紹介と相談が適切に実施でき、他科医師や医療スタッフ・病院事務職からの相談へ丁寧な対応ができ、チーム医療での自立的・協調的なコミュニケーションをもって治療を実施することができる。

C. 主な症状・病態の経験

①疾患

血尿、膿尿、排尿困難、尿閉、陰嚢内腫瘍、尿量異常、急性尿閉、陰嚢部凍、排尿痛
尿路悪性腫瘍、尿路良性腫瘍、男性生殖器腫瘍、一般尿路感染症、尿路結石、性感染症、
排尿障害 など

Ⅲ：学習方法 (LS : Learning Strategy)

1) LS (方略) 1 : On-the-job training

■主な病棟業務

- ・主治医を含む指導医または上級医の指導のもと、OJT を中心とした診療に参加する。指導医または上級医とともに診断・治療にあたり、診療録に記載する。
- ・担当患者の医療面接、身体診察や検査立案を行い、SOAP 形式で診療録に記録する。
- ・泌尿器科入院患者の治療・検査計画について患者、家族に対して説明する。

■補足

- ①医療面接・泌尿器科的身体所見・泌尿器科的検査処置・手術手技の基本手技の学習戦略
 - ・指導医または上級医による実地指導、文献、Web 等の IT、研修会、講演会での学習と習得をすること。

- ②コミュニケーションスキルの学習戦略

- ・指導医または上級医、看護師、医療スタッフ、事務職との協調的対話を実践することでの学習と習得をすること。

- ③治療方針の学習戦略

- ・カンファレンスでの治療方針の決定・ガイドラインと実地診療との整合性の学習と習得をすること。

2) LS (方略) 2: カンファレンス・勉強会

①プレゼンテーションスキルの学習戦略

- ・回診での症例提示、学会や研究会での症例発表、電話報告での簡潔な症例提示と問題点報告での学習と習得をすること。

3) LS (方略) 3: 学会・研究会・学術活動

- ・学術講演会や各種の院内研修（医療安全や感染対策など）に積極的に参加する。
- ・泌尿器科疾患に対する講演会や研修会に積極的に参加して知識を深めるとともに、学会発表や症例報告論文を作成する能力を身に付ける。

○週間予定表

	月	火	水	木	金
午前	病棟外来診療 研修等	手術手技研修 等	手術手技研修 等	病棟外来診療 研修等	手術手技研修 等
午後	病棟外来診療 研修等 カンファレン ス	手術手技研修 等	手術手技研修 等	病棟外来診療 研修等 カンファレン ス	手術手技研修 等

IV: 学習評価 (EV: Evaluation)

PG-EPOC による総合評価

- 1) 個々の診療記録と退院要約（サマリー）は、定期的に指導医の評価と承認を受ける。
※退院要約（サマリー）は、1週間以内に記載すること。
- 2) ローテイト研修終了時に、PG-EPOC に診療経験にもとづく自己評価を行い、指導医による評価を受ける。
- 3) 診察態度や協調性について看護部及びメディカルスタッフ等による 360 度評価を行う。